

150人が参加、児童画表彰も

「不動産の日」ふれ愛講演会

石川県宅建協会



児童画コンクール表彰式(左)と講演する菊地弁護士



石川県宅地建物取引業協会は23日、「不動産の日」(毎年9月23日)に

ちなみ、国土交通省や石川県らの後援を得て、『不動産の日』ふれ愛講演会を、金沢駅前のAN

Aクラウンプラザホテルで開催した。

この講演会は、消費者が気軽に不動産に関する制度や知識に触れる機会として同協会が毎年開催

しているもので、今年で7回目を迎えた。シルバーウィークの最終日にも関わらず、約150人が来場した。

冒頭、あいさつに立った吉本重昭会長は、昨今

『住まいと人』を考える活用いただきたい」と呼びかけた。

今年は「これからの中の社会情勢・人口動態の

変化に触れ、地域で増加する空き家の対策のため、国の補助を受けて、今年8月1日に開設した「空き家総合相談窓口」について紹介し、「専門

家団体と連携し相談体制を構築したので、ぜひご活用いただきたい」と呼びかけた。

受賞者は次の皆さん(敬称略)。

【石川県知事賞】
岩崎瑞生(七尾市立東

湊小3年)▽井村桜太(金沢市立新神田小2年)▽上濱康輝(金沢市立十一屋小1年)▽上濱康輝(金沢市立十一屋小1年)

河崎祐希奈(金沢市立米丸小3年)▽山本明日翔(七尾市立東湊小2年)▽木下雄介(金沢市立立野小1年)

川県土木部次長の畠本秀一氏が受賞者へ表彰状や記念品を手渡した。今年のテーマは「北陸新幹線

とぼくたち(わたしたち)」。

また、講演に先立ち、一氏が受賞者へ表彰状や記念品を手渡した。今年のテーマは「北陸新幹線とぼくたち(わたしたち)

平成27年9月25日(金)
建設工業新聞 第14面

地幸夫弁護士が「菊地幸夫流 人とのつながり方」を演題にそれぞれ講演した。このなかで、菊地弁護士は「日頃仕事などで疲れて、週末は家でのんびりというのも良いかもしませんが、少し地域に目を向けてみると、自身の見識の幅が広がるような出来事に出会うかもしれません」と、自身の経験や体験をもとに語った。